

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No.	①事業名	②事業概要	③対象	④事業実績(経費内訳)	⑤事業始期	⑦事業費(円)	⑨事業の 周知方法	⑩成果目標	⑪効果・検証	⑫担当課
					⑥事業終期	⑧うち交付金(円)				
1	子育て世帯支援事業	新型コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯を支援するため、小中学生の給食費無料化を行う。	小中学校児童生徒の保護者	小中学校給食費の経費に充当する。 ①小学校給食費1式 2,604,250円 ②中学校給食費1式 1,913,800円	R3.4	4,518,050	小中学校全保護者に通知	給食無償化対象者: 89人うち、 小学校対象児童数: 53人 中学校対象生徒数: 36人	【検証方法】:自己評価、保護者の意見集約 【目標に対する達成度】:給食無償化対象89人 小中学生全員の給食費を無料化したことにより、新型コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減に繋がった。 保護者からも高評価であった。	教育委員会
					R4.3	4,518,000				
2	新型コロナウイルス感染防止事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共機関(役場庁舎、小中学校、やまゆりセンター等に非接触型発熱センサーを設置し、発熱者及びマスク非着用者への注意喚起を行う。	役場庁舎、小中学校、やまゆりセンター、保育所、学童保育所	非接触型発熱センサー、飛散防止パーテーション ①非接触型発熱センサー 341,000円×4台=1,364,000円 ②保育所パーテーション 22,600円×11セット=248,600円 ③学童保育所パーテーション 112,200円+15,862円=128,062円 ④役場庁内パーテーション 79,530円×1式=79,530円	R3.4	1,820,192	HP、情報告知端末、施設出入り口でのチラシの掲示 保育所・学童保育所は、施設管理者が各家庭に周知	・非接触型発熱センサー設置 公共施設数/4箇所(役場・小学校・中学校・やまゆりセンター) ・飛散防止パーテーション設置 公共施設数/3箇所(役場・保育所・学童保育所)	【検証方法】:自己評価及び施設管理者に対する聞き取り、感染者数の推移など ○自己評価 村内公共施設に非接触型発熱センサーを設置することで、来所者への感染対策の意識づけの向上を図ることができた。また、特に保育所・学童・小中学校は小さな子どもたちが集団生活を営む場であり、クラスターが発生しやすい環境であるため、小中学校には発熱センサーを設置し、登校時に確実に検温することで、児童生徒の体調管理に寄与できた。 ○施設管理者に対する聞き取り 保育所未満児はマスクをつけることができなかつたり、給食の際にマスクを外す機会が多いため、飛散防止パーテーションを設置することで感染を防ぐことができたと保育所職員から報告があった。また感染症第5波(R4.7~9月)の前にパーテーションを設置することで、クラスターの発生を防ぐことができたと各施設管理者から報告があった。 【目標に対する達成度】: ・非接触型発熱センサー 設置公共施設数 4/4か所 ・飛散防止パーテーション設置公共施設数 3/3か所 ・道志村における感染者数推移 第5波発生(R4.7~9月)から8/20~26の週に至るまでに、1名の感染者が確認されており、その後9月末まで確認されなかった。(感染者数比較:山梨県全体3,013名、富士東部地域652名)	住民健康課
					R4.3	1,820,000				
3	福祉センター感染防止対策事業	福祉センター(デイサービス事業所)は、建設から25年が経過しており、空調設備の機能低下がたびたび見られ、稼働しない機器がある。感染防止対策として、間仕切り等で利用者間の距離を取る場合は、空調が機能していない箇所が多く、体調不良となる可能性がある。利用時間は7~8時間であり、滞在時間が長時間となることから、空調設備の整備をすることで、適度な温度と湿度の管理を行いながら、定期的な窓の開け閉めによる換気を行うことで感染症予防対策を行う。	福祉センター利用者(要支援・要介護認定者)、デイサービス職員	福祉センター空調設備改修工事 ①工事請負費 12,738,000円	R3.5	12,738,000	当施設の管理者から使用者及びその家族に個別周知を行った(工事スケジュール等含む)。	当該施設での新型コロナウイルス感染クラスター発生件数 0件	【検証方法】:自己評価及び施設管理者への聞き取り 【目標に対する達成度】:クラスター発生件数 0件 ○自己評価結果 実際に施設を管理運営する施設管理者への聞き取り結果を踏まえ、当該施設でのクラスター発生を抑制できた。デイサービス利用者も平均11名/日から平均15名/日に増え、施設稼働率も70%前半から80%台となった。 ○施設管理者への聞き取り結果 デイサービス利用者の感染はなく、感染リスクを軽減できており、懸案であった空調の機能不全によるデイサービス利用者の体調不良の可能性も軽減できた。また、感染リスクのため、デイサービスの利用を控えていた方の利用促進に繋がりが快適に施設を利用できている。	住民健康課
					R3.10	12,738,000				

4	保育所遊具整備事業	コロナ禍で村外への外出が自粛される中、村内の子育て施設の整備が必要とされているが、村内には遊具設置公園がなく、整備を希望する声が多くある。保育所の遊具は土日の園庭解放により多くの子育て世代に利用されているが、老朽化により遊具の使用制限があるため、遊具整備を行い子育て環境の充実を図る。	村内に居住する子育て世代	保育所遊具整備 ①工事請負費 5,324,000円 遊具組立・遊具基礎整備・遊具取付・既存遊具撤去・遊具周辺整地	R3.5	5,324,000	広報10月号、保育所保護者に個別通知など	・保育所保護者への遊具整備に対するアンケート 遊具整備にかかる満足度 65%以上 感染対策に対する満足度 65%以上	【検証方法】:保育所保護者へのアンケート、利用者からの聞き取り 【目標に対する達成度】: 遊具整備にかかる満足度 95% 感染対策に対する満足度 81% 保育所の園庭開放は、村内に公園施設がないため、子育て支援対策として以前から実施していた。保護者からは「混んでいないので安心して遊べる」等、感染対策に対する満足度は81%であった。又「年齢問わずに遊べる遊具である」と評価が高く、遊具整備に対する満足度は95%であった。新たな複合遊具を設置したことで、利用者が安全に遊ぶことができ、人との距離を保ちながら、遊びの場を提供できたことは感染拡大防止にもつながったと評価できる。	住民健康課
					R3.10	5,324,000				
5	道志村水源の郷地域活性化商品券支給事業	新型コロナウイルス感染拡大により観光客が減少し、村内経済活動が停滞している。村民に対し、村内登録店で使用できる商品券を1人1万円分交付し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を促す。	村内に住民登録のある住民(令和3年11月1日基準日)、令和4年2月28日までに村内に住民登録された者	商品券、消耗品費、印刷代、郵送料 ①商品券換金 15,676,000円 ②消耗品費 のぼり旗92,400円+A4用紙・宛名ラベル4,412円=96,812円 ③印刷代 ポスター印刷26,400円+商品券印刷374,000円=400,400円 ④郵送料 商品券郵送料284,308円	R3.8	16,457,520	広報誌(10月号、11月号、1月号、2月号)、HP、情報告知端末、ポスター・チラシを村内各所に掲示	・取扱店舗数(基準:プレミアム商品券25店舗⇒50店舗) ・商品券使用率 95%	【検証方法】:自己評価 【目標に対する達成度】:取扱店舗数70事業者、商品券使用率 96.41% コロナ禍の影響が引き続き、昨年度から村内経済活動が停滞している中で、70の事業者が取扱店として登録(プレミアム商品券時25事業者 2.8倍)をした。昨年度は、67事業者の登録があったが、周知をより一層行っただけで、今年度は登録事業者数を増加することができた。 商品券使用率は96.41%と成果目標の95%を超えることができ、高い使用率となり、地元事業者の応援により、地域経済の活性化に寄与できたと評価できる。また、村民の経済的な負担の軽減にも繋がるとともにコロナ禍で軽薄化していた地域事業者とのコミュニケーションも図ることができた。	ふるさと振興課
					R4.3	16,457,000				
6	感染防止用品等配布事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ワクチン接種者及び保育所、学童保育所、小中学校などに衛生用品等を配布する。また、ワクチン接種副反応の軽減のため、接種者に清涼飲料水を配布する。	ワクチン接種者、保育所、学童保育所、小中学校	除菌シート、マスク消毒ジェル、清涼飲料水、手指消毒液、施設消毒液、手袋、非接触体温計ほか ①除菌シート 144円×3,400個×1.10=538,560円 ②マスク 125円×3,400個×1.10=467,500円 ③消毒ジェル 10,800円×34箱×1.10=403,920円 ④清涼飲料水 453,538円 ⑤手指消毒液 820円×175本×1.10=157,850円 ⑥施設用消毒液 4,444円×40本×1.10=195,536円 ⑦その他(手袋・非接触体温計・ボトル他) 114,099円	6	2,331,003	村HP、情報告知端末、出入口でのチラシの掲示	・ワクチン接種率 初回接種 75.0%(接種見込1,200名+住所所外接種200名) 追加接種 75.0%(接種見込1,200名+住所所外接種200名) ※接種率の算出は、住所所外接種は除いた値とする ・ワクチン接種者への配布(除菌シート、マスク、消毒ジェル、清涼飲料水) 初回接種 接種見込1,400名に2回配布(各々2,000個購入) ※R2年度内にワクチン接種を見越して1,000個購入済みであり、合計3,000個とした。 追加接種 接種見込1,400名に1回配布(各々1,400個購入)	【検証方法】:物品配布担当者からの聞き取り、ワクチン接種率、感染者数の推移など ・ワクチン接種者に、接種後も引き続き感染対策を講じてもらうためマスク等は毎日使う物なのでありがたいといった接種者の声が多数あったと物品配布担当者から報告があった。ワクチン接種に行くだけで感染防止用品がもらえるところも広がりが、ワクチン接種率の向上につながった。残った物品は4回以降ワクチン接種の際に配布する。 【目標に対する達成度】: ・ワクチン接種率 初回接種 1,372/1,541人 = 89.0%(住所所外接種を除く) 追加接種 1,228/1,475人 = 83.2%(住所所外接種を除く) ・感染防止用品配布 初回接種 2,592/3,000個 = 86.4% 追加接種 1,208/1,400個 = 86.3% ・道志村における感染者数推移 第5波発生(R4.7~9月)から8/20~26の週に至るまでに、1名の感染者が確認されており、その後9月末まで確認されなかった。 (感染者数比較:山梨県全体3,013名、富士東部地域652名) 保育所、学童保育所、小中学校に手指消毒液、施設用消毒液等衛生用品を配布することで、感染者の増を防ぐことができた。	住民健康課
					R4.3	2,258,000				

7	避難所用感染症対策資機材等整備事業	避難所における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、避難者の感染防止を図るため、避難所開設時に活用できる感染防止に必要な物資を指定避難所(6施設)へ備蓄する。	避難者	避難所感染症対策資機材整備 ①間仕切りテント 5,000円×60張×1.1=330,000円 ②目隠しシート 1,700円×60枚×1.1=112,200円 ③折り畳み式簡易ベッド 7,900円×60台×1.1=521,400円 ④業務用扇風機 13,000円×6台×1.10=85,800円 ⑤LED投光器 18,000円×6台×1.10=118,800円 ⑥カセットコンロ 2,000円×12台×1.10=26,400円 ⑦エコロジー食器セット 8,900円×12セット×1.10=117,480円 ⑧アルミマット 18,740円×42箱×1.10=865,788円 ⑨送料一式 77,132円	R3.11	2,255,000	HP、自治会長会議において周知	指定避難所への整備率 100%	【検証方法】:自己評価及び自治会長会議からの意見集約 【目標に対する達成度】:指定避難所への整備率100% 災害時の新型コロナウイルス感染症が課題となる中で、必要な対策を講じるための防災用備蓄物資の整備が全ての指定避難所に行え、住民の安心・安全の確保および避難所における二次災害(クラスター等)への対策を図ることができた。また、自治会長会議において当該事業についての周知をするとともに、各自治会からの意見を聞く中で、「コロナ禍における災害時の避難については、どうしても消極的になってしまうところだが、必要な物資が確保されたことにより、より安心感が増した。」「更なる充実を望む」といった声が多く聞かれた。	総務課
				R4.3	2,255,000					
8	宿泊事業者支援金給付事業	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う外出自粛等の影響により、体験学習や合宿が中止となり、経営状況が悪化している村内の宿泊事業者(旅館業・民宿業)に対し、グリーン・ゾーン認証制度と併せた安全・安心な観光地づくりを促進し、支援金を給付することで、打撃を受けている観光地の再生を図っていくことを目的とする。	村内の宿泊事業者(旅館業・民宿業)	宿泊事業者に対する支援金の支給(旅館業2件×300,000円)+(民宿業7件×300,000円)=2,700,000円	R3.11	2,700,000	広報誌(12月号)、HP、情報告知端末、民宿・旅館へ通知を送付	やまなしグリーン・ゾーン認証取得施設数 6施設⇒10施設	【検証方法】:自己評価、旅館・民宿からの聞き取りなど 【目標に対する達成度】:6施設⇒9施設 村内の宿泊事業者の経営状況が悪化している中で、民宿・旅館合せて17の施設に対し、やまなしグリーン・ゾーン認証取得を条件に付したところ、9施設が認証を取得し支援金の支給対象施設となった。目標達成には至らなかったものの、やまなしグリーン・ゾーン認証を取得するためには、感染防止等の新たな施設改修等が発生するため、その費用等についても助成することで更に認証取得施設を増やし、安心・安全な観光地づくりを行うことにつながった。	産業振興課
				R4.3	2,700,000					
9	サテライトオフィス感染防止対策事業	サテライトオフィスの感染防止対策として、空気清浄機、検温器、消毒器の設置やパーテーションの設置強化をし、感染リスクを抑え、安全・安心を確保するとともに施設の活用促進につなげる。	サテライトオフィス利用者	空気清浄機、パーテーション、検温器、消毒器 ①空気清浄機 (106,000円×2台)+(79,900円×2台)+(42,790円×3台)=500,170円 ②非接触型発熱センサー 341,000円×1台=341,000円 ③パーテーション (小1,430円×14個)+(大8,990円×8個)=91,940円 ④自動手指消毒器 7,150円×5台=35,750円	R3.11	968,860	HP	感染症対策物品整備実績 ・空気清浄機 整備前:0台→整備後:7台 ・非接触型発熱センサー 整備前:0台→整備後:1台 ・パーテーション 整備前:0個→整備後:22個 ・自動手指消毒器 整備前:0台→整備後:5台	【検証方法】:自己評価・利用企業への聞き取り 【目標に対する達成度】:空気清浄機7台、非接触型発熱センサー1台、パーテーション22個、自動手指消毒器5台を整備した。 道志村サテライトオフィスは、村内者・村外者に関わらず利用できるようになっていたが、新型コロナウイルス感染症対策物品の整備が行われていなかった。感染症対策物品の整備を行ったことで、コロナ禍でも安心して施設を利用できる環境を整えることができた。また、サテライトオフィス利用企業に聞き取りを行ったところ「感染症対策を講じていることで、今後はより一層安心して仕事ができる」という喜びの声も頂いた。	ふるさと振興課
				R4.3	935,000					

10	子育て世帯への臨時特別給付金(特例給付分)支給事業	国が行う子育て世帯への臨時特別給付金は、所得制限が設けられており、特例給付対象(所得制限額以上)者は対象外である。しかし、本給付金は新型コロナウイルス感染症が長期化し様々な人に影響が及ぶ中、子育て世帯(子どもたち)の未来を拓く観点から支給するものであるため、特例給付対象者に対しても給付を行う。全子育て世帯に給付することで、一律に子どもの生活を支援することができる。	高校生までの児童・生徒がいる世帯で、所得が特例給付対象の保護者	子育て世帯への臨時特別給付金(特例給付分)の支給 特例給付対象10名×100,000円=1,000,000円	R4.1	1,000,000	HP、特例給付対象児童に個別通知	特例給付対象児童10名への支給	【検証方法】:自己評価及び特例給付対象世帯に対する聞き取り 【目標に対する達成度】:特例給付対象児童10名 新型コロナウイルス感染症が長期化する中、子育て世帯への影響は生活全般のみならず、心身共に疲弊した状況が続いている。子育て世帯に一律に給付金を支給することで経済の活性化と、支給を受ける世帯への経済的支援に繋がった。また、特例給付対象世帯からは「コロナ禍であっても前向きになれる要素となった。村としての取組みに感謝している。」との声があり、子育て支援に寄与できた。	住民健康課
					R4.3	1,000,000				
11	入学祝金支給事業	小中学校に入学する新1年生は、入学準備等に係る多額な費用が必要となるが、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、小中学校に入学する新1年生の保護者に対して入学祝金を支給する。	小中学校に入学する新1年生の保護者	入学祝金の支給 (小学校入学予定児童12名×3万円)+(中学校入学予定生徒 9名×5万円)=810,000円	R4.1	810,000	HP、広報誌(2月号)、情報告知端末対象世帯に個別通知	小中学校入学予定者数21名 (小学校12名、中学校9名)	【検証方法】:自己評価及び入学祝金受給世帯に対する聞き取りなど 【目標に対する達成度】:小中学校新1年生 21名 新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、小中学校に入学する新1年生の保護者に対して、入学祝金を対象者全員に支給することが出来た。祝金の支給により、入学準備に係る経済的負担の軽減に繋がった。	教育委員会
					R4.3	810,000				